

2017/06/25 サロマ湖 100kmウルトラマラソン 参戦記

岡本 暢

サロマ湖 100km ウルトラマラソン
楽園。と称されるワッカは...地獄でし
た。

前夜から降り続く雨、雨、雨。
しかもシトシト降りではなくザンザン
降り。

6月25日、北海道は紋別地方。午前5
時のスタートにあわせて整列が始まる
も、雨は更に強くなり気温も上がり
吐く息が白い...。雨のレースでも普段
はまず着ることの無いポンチョをこの
降りっぷりではさすがに着用。

結局、フィニッシュするまで雨が止む
ことはなく降り続けました。

6月は膝の故障でまともにラントレも
出来ておらず、それでもやれることは
やりたいと目標意識だけは高い。

サブ10狙いで序盤からキロ5分半ペース。

雨で霞むサロマ湖を見ながら、オホーツクの街を走る。

雪棄て場にまだ残雪がある中、一際大量に残ってる場所があるな...と思っていたら、近付いたらそれはホタテの貝殻の山でした(笑)さすがはサロマ。

「岡本さん！」

突然沿道から声が掛かってびっくりして振り向くと、そこにはKTCジャージ。

まさかのエールに驚きながらもどなたかはわからず(後日、中村一郎さんと判明...大変失礼いたしました)、ただ応援頂いて気持ちは上がる。

雨の影響で、もう避けることも諦めた程冠水したコースを、足首まで浸かってジャブジャブと走り続ける。

前半戦 50km を 4 時間 45 分で通過。身体も軽い、これは意外とあっさりといけるかも。

なーんて、故障を理由に6月のラントレ月間距離 80km しか走ってないヤツに、世の中そんな簡単に甘い汁吸わせてくれる訳がない。

軽快に運んでいた足も次第に重くなり、80km 地点を超える頃には15分あった筈の貯金も少しずつ崩れだした... そう、楽園ではない地獄のワッカで。



サロマ湖 100km ウルトラマラソンの最大の目玉は、この終盤に訪れるワッカ原生花園。オホーツク海とサロマ湖に挟まれた砂州地形で、ハマナス、エゾカンゾウ、エゾスカリユリが咲き乱れ、この世の楽園と称される。

そんな理想郷とは裏腹に 80km 地点を抜けてワッカに入った途端、猛烈な向かい風と横殴りの雨に襲われた。

景色を楽しむ余裕もないまま、落ちていくペースをどうすることも出来ないまま、あっという間に足は止まった。

ワッカでの折り返し 90km 地点で貯金は使いきり、当然の如く残りの 10km をイーブンで走ることの出来ないまま、増え続ける借金。

ラスト 1km、ビクトリーロードは何の感動も得られないまま進みそしてフィニッシュ。

ラストの 10km はまさかの 78 分も費やし、10 時間 18 分のサロマの旅は終わりました。

昨年、100km レースのデビュー戦

だった山あり谷ありの丹後ウルトラと違い、サロマは累積標高 400m 超とほぼフラット。トレーニング不足を棚に上げ、「サブ 10 出来て当たり前」と思ってただけに心のダメージもまたでかし。

フィニッシュ直後は「もう 100km なんて走るもんか」と思ってましたが、喉元過ぎればなんとやら... 汚名挽回、次がある。

来年はどう走ってやろうか...

KTC にいるとますます変態度が増してきたようです(笑)

